

ユーザメモと wiki を連携するシステムの開発

関西学院大学理工学部 情報科学科 西谷研究室 3550 江本沙紀

1 開発の背景

近年、ナレッジマネジメントは企業経営の重要な要素と言われ、導入を進める企業が増えている。ナレッジマネジメントとは、個人の持つ知識や情報を組織全体で共有し、有効に活用することで実績を上げようという経営手法である。

ナレッジマネジメントでは、グループ開発において共有する知識は暗黙知と形式知に分けられる [1]。暗黙知は主に口伝によって一対一でつたえられたり、あるいは体で覚えるというのが一般的である。しかし、定着するまでの間は一般的にメモという形で個人的な知識として扱われるのが普通である。一方、形式知は図書館や web 上に誰もが読める形で保管、提供される。

西谷研究室では、各所属学生の暗黙知を形式化するために、my_help という gem を開発し、自分のためのメモをのこして活用している。本研究では、西谷研究室内でのナレッジマネジメントを推進するため、my_help から wiki clone の hiki へ自動変換するシステムの開発と、my_help をよりよいソフトにするために FrontPage の設計をする。

2 開発の方法

想定しているこのシステムの使用法は以下の通りである。

1. my_help を利用してメモを作成する。
2. 研究室内の各学生のメモを 1 つの場所に集めるためにサーバに送る。
3. サーバに集めたメモを hiki 形式に変換して、wiki で表示する。
4. 研究室に所属するメンバーが全員のメモを閲覧し情報を共有する。

このような動作をすることのできるコマンドの開発を行う。

3 結果

コマンドを 2 つに分けてシステムの開発を行った。

- TARGET --push

my_help で作成したメモが自動的に保存される my_help のディレクトリから、必要なメモのみを西谷研究室で利用しているサーバである nishitani0 に scp コマンドを利用してコピーする。同時にコピーができていないかの確認も、コマンドによって行うことができるような仕様になっている。

- my_help --hiki

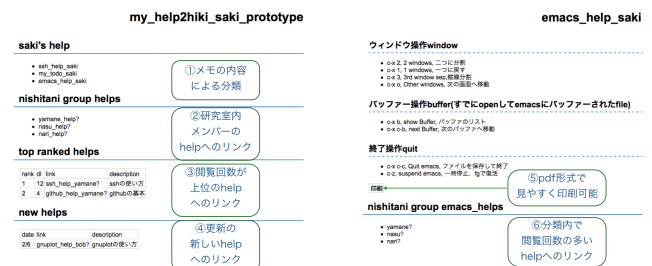
作成したメモを hikidoc のフォーマットに変換し、web に自動変換表示する /Sites/hiki-1.0/data/text にコピーする。全てのメモへのリンクがあるトップページである Frontpage を作り、自動で表示を行う。

4 FrontPage の設計

知識共有のため、以下のような機能の実装を設計した。

- メモの内容による分類
- 研究室内のメンバーの help へのリンク
- 閲覧回数が上位の help
- 更新の新しい help へのリンク
- pdf 形式に変換し印刷
- 分類内で閲覧回数の多い help へのリンク

my_help2hiki で作成された web のプロトタイプは図 1 の通りである。



FrontPage

(例)emacs.help

図 1 my_help2hiki で作成された web のプロトタイプ。

5 今後の課題

西谷研究室には内部サイトがあり、研究室内で使用するシステムのマニュアル等が公開されている。本研究で表示を可能にした FrontPage を内部サイトに表示するようにすれば、さらに研究室内のナレッジマネジメントに役立つのではないかと考えている。

参考文献

- [1] 「プロジェクト・ナレッジ・マネジメント」、ニック・ミルトン、(生産性出版、2009 年)、p.4-5.